

第25回全国在日外国人教育研究集会・奈良大会ご案内

子どもたちの状況と私たちの課題を明らかにし、多文化共生教育の確立をめざそう

全国在日外国人教育研究集会が開催されるようになって四半世紀が過ぎました。前回24回までの研究集会に提出された報告数は724本に及び、全外教レポートが研究対象として取り上げられ、分類・分析されるほどになりました（『1970年代以降の在日韓国・朝鮮人教育研究と実践の体系的研究』研究代表者・中島智子〔プール学院大学〕）。全外教のとりくみは確実な広がりを見せ、研究集会は多様な実践の交流の場となっています。

しかしながら、外国人の子どもたちを取り巻く状況は依然として厳しいものがあります。奈良県外国人教育研究会の2003年度の総括会議において、県内のある高校から次のような「出来事」の報告がありました。新入生へのクラブ紹介時のことです。

生徒A	「それでは、～部の活動を紹介してもらいます」
生徒B	手に持った紙を見ながら、ピョンヤン放送のアナウンサーのマネをして「 …」
生徒A	「そんなんわからへんやん。貸して」 紙を受け取り、自分で説明しようとする。
生徒B	Aが話し出す前に、もう一度ピョンヤン放送のアナウンサーのマネをして「 …」
生徒A	「だから、通訳せんでいいねん。日本語でわかるやん。みんな日本人やねんから。この中で朝鮮人の人(いる)?」手をあげて1年生に聞く。

北朝鮮をギャグのネタにし、拉致問題が暗い影を落とす在日コリアンの心に気づかぬ日本人の高校生。一連の拉致報道が子どもたちの朝鮮観・朝鮮人観にどのような影響を与えているのか、危惧を覚えざるを得ません。そして、それとともに、在日コリアンの子どもたちが、今どんな思いで暮らしているのが、とても気がかりなところです。

「新渡日」の子どもたちについては、日本語指導法や教材の開発、週4時間程度の日本語講師の配置などは概ね全国的に確立され、高校入試も特例枠の設置や配慮事項の確立などが広がりつつあります。しかし、それらはまだまだ質的にも量的にも「新渡日」の子どもたちのニーズに応えるものではありません。また、日本語教育・適応教育がもっぱらで、アイデンティティの確立・保持の観点から重要と思われる母語保障にとりくんでいる学校現場は極めて少数です。経済的に苦しい状況に置かれている「新渡日」の子どもたちも多く、奈良では今年度より奈良県高等学校教育文化総合研究所が「新渡日」生徒の就学保障を視野に入れた奨学金制度を発足させました。

全外教奈良大会全体会では、奈良ではこういった課題にどう向き合ってきたかを報告し、翌日の分科会の論議につなげたいと準備中です。節目となる全外教第25回研究集会に、各地の子どもたちの状況と実践を持ち寄っていただき、交流を深めましょう。

2004年4月

〔主催〕 全国在日外国人教育研究協議会

第25回全国在日外国人教育研究集会奈良大会現地実行委員会

〔後援〕 (財)朝鮮奨学会 / 日本華僑華人聯合總會 / 全国キリスト教学校人権教育研究協議会 / 奈良県 / 奈良県教育委員会 / 奈良市 / 奈良市教育委員会 / 生駒市 / 生駒市教育委員会 / (財)ならシルクロード博記念国際交流財団 / 奈良県国公立幼稚園長会 / 奈良県小学校校長会 / 奈良県中学校校長会 / 奈良県高等学校校長協会 / 学校法人帝塚山学園 / 奈良県PTA協議会 / 奈良県高等学校PTA協議会 / (財)奈良 人権・部落解放研究所 / (財)水平社博物館 (順不同。申請中を含む)

第25回全国在日外国人教育研究集会・奈良大会 開催要項

テーマ 子どもたちの状況と私たちの課題を明らかにし、多文化共生教育の確立をめざそう
日程

8月17日(火)	フィールドワーク・ワークショップ				
8月18日(水)	11:30	12:30	14:00	17:00	18:00
	受付	開会行事	地元報告	(移動)	全国交流会
8月19日(木)	9:00	9:30	12:00	13:00	15:30
	受付	分科会	昼食	分科会	閉会行事

会場

全体会 帝塚山高校(18日12時30分～17時)

分科会 帝塚山大学短期大学部(19日9時30分～15時30分)

全国交流会 帝塚山大学短期大学部食堂(18日18時～20時30分)

生徒交流会 生駒山麓公園ふれあいセンター(18日17時～19日15時30分)

全体会地元報告

シンポジウム

『韓国・朝鮮に関する意識調査～20年前、10年前、そして今』から見えるもの

パネラー：朴さん、在日コリアン青年、奈良県外教在日コリアン研究委員会

奈良発：「新渡日」の子どもたちは今

「新渡日」生徒による寸劇、保護者アピール、中国「残留孤児」からの聞き取り、他分科会

帝塚山高校・帝塚山大学の住所はいずれも
〒631-0034
奈良市学園南3-1-3

共通課題 <多文化共生>と<本名(民族名)を呼び名のる>とりくみをすすめよう
<子どもたちや教職員・地域がどう変わったか>を明らかにしよう

1、異なる文化との出会い

子どもたちに異なる文化とどう出会わせたか。
在日コリアンをはじめとする外国人の歴史をどう教材化し、親の生活史をどう伝えたか。
日本籍・ダブルの子どもにかかわるとりくみをどう進めたか。

レポート 奈良・八木中、滋賀・安土小、京都・立命館大学院

2、本名(民族名)を呼び名のる

本名(民族名)を呼び名のる関係をどうつくったか。
在日外国人と日本人の子どもがどのような関係を結んだか。
名前の自己決定をめぐる状況はどうなっているのか。

レポート 奈良・東大寺学園高、大分・石垣小、大阪・桃山学院高、大阪・住吉高、奈良・高教組、兵庫・市立尼崎高

3、学校をひらく

自立と連帯の場をどのように保障したか。
地域や保護者・NPOをはじめとする教育支援団体とのつながりをどのように深めたか。

民族クラブ・朝問(文)研・多文化研などがどのように活動しているか。

レポート 奈良・ペルー人生徒を支える会、奈良・外国人生徒受け入れ3校連絡会、神奈川・ヨコハマ・ハギハッキョ実行委

4、差別と排外に抗して

差別事件へのとりくみをどのようにすすめたか。
排外意識や自民族中心主義を解き放つためにどうとりくんだか。
反差別の教育実践をどのように展開したか。

レポート 奈良・天理大、広島・トンベックの会、熊本・「強制収容」を考え、子どもの学びと発達を守る熊本の本会

5、多文化共生をめざして

多文化共生の教育をどのようにすすめたか。
新たに渡日した子どもたちの教育にどうとりくんだか。

進路の保障はどのようになされているか。

レポート 奈良・奈良F&F、兵庫・多文化共生センター・ひょうご多文化保育園、滋賀・近江八幡市役所パートナーシップ推進課、奈良・畝傍夜中・橿原に夜間中学校をつくり育てる会、兵

庫・浜脇小、滋賀・朝鮮文化を考える会^{ちんぎ}

6、歴史と文化・世界に学ぶ

日本と韓国・朝鮮、日本と世界の歴史や文化にどう学んだか。

海外研修・修学旅行等でどのようなとりくみをしたか。

子どもたちの世界認識を深めるためにどのようにとりくんだか。

レポート 奈良・奈良県での朝鮮人強制連行等に関わる資料を発掘する会、兵庫・神戸甲北高、兵庫・市立尼崎高

7、未来をひらく

進路をめぐる差別の実態はどのようになっているのか。

進路の保障をどうすすめ、子どもたちの未来をどうつくるのか。

専門学校・大学等ではどのようなとりくみをしているのか。

レポート 奈良・県外教他、神奈川・神奈川県外連、東京・啓明学園中高

8、生徒の集い（全国在日外国人生徒交流会）

名前・進路・生き方・学校・友人等、抱えている問題を出しあおう。

自らをとりまく現状について、明らかにしよう。

先輩の生き方に学び、未来について語りあおう。

フィールドワーク（コース とも、12:30 集合、17:30 解散予定、移動は貸し切りバス）

コース 飛鳥と渡来文化（定員 50 名、集合：近鉄畷傍御陵前駅）

畷傍御陵前駅集合 橿原考古学研究所附属博物館見学 高松塚古墳 石舞台 飛鳥寺 橿原神宮前駅解散
講師：今尾文昭さん（橿原考古学研究所附属博物館）

コース 奈良における朝鮮人強制連行・強制労働（定員 50 名、集合：JR 近鉄天理駅改札口付近）

天理駅集合 大本営地下壕予定地（遠望） 柳本飛行場跡 コンクリート製防空壕 海軍施設部跡
国語講習所跡 黒塚古墳展示館 天理駅解散

講師：高野眞幸さん（奈良県での朝鮮人強制連行等に関わる資料を発掘する会）

ワークショップ（14:00～17:00、定員 50 名、場所：生駒市中央公民館・小ホール）

内容：「ゲームを通して考えよう！国際理解と人権のまちづくり」

ファシリテーター：仲川順子さん（なら NPO プラザ代表）

話題提供者：奈良に暮らす外国人数名

参加申し込み方法

・下記の郵便振替用紙に必要な事項をご記入の上、大会資料代等を振り込んでください。

・全体会と分科会には、当日受付での参加もできます。

フィールドワーク、ワークショップは大会参加を原則とします。定員超過時は、県外の方を優先させていただきます。

払 込 取 扱 票

00	奈良	口座番号（右語にご記入ください）										金額	千	百	十	万	千	百	十	円		
0	0	9	9	0	3	2	6	8	1	8	3											
加入者名	全外教奈良大会現地実行委員会											料金										
通 信 欄	大会参加票をお送りしますので、楷書で正確に記入してください。																					
	名 前	全国交流会への参加			フィールドワークへの参加			ワークショップへの参加														
		参加する	参加しない	参加する	参加しない	参加する	参加しない	参加する	参加しない	参加する	参加しない											
		参加する	参加しない	参加する	参加しない	参加する	参加しない	参加する	参加しない	参加する	参加しない											
	参加する	参加しない	参加する	参加しない	参加する	参加しない	参加する	参加しない	参加する	参加しない												
送金内訳	大会参加費	¥4,500 ×	人	全国交流会参加費	¥3,000 ×	人	ワークショップ参加費	¥1,000 ×	人	送金合計額	¥											
	フィールドワーク	参加費	¥3,000 ×	人																		
	フィールドワーク	参加費	¥3,000 ×	人																		
払込人住所氏名	（郵便番号）											受付局日附印										
	（電話番号）																					
裏面の注意事項をお読みください。（郵政事業庁）																						

払込票兼領収証

口座番号	0	0	9	9	0	3	右語にご記入ください												
	2	6	8	1	8	3													
加入者名	全外教奈良大会現地実行委員会																		
金額	千	百	十	万	千	百	十	円											
払込人住所氏名	（消費税込）																		
料金	受付局日附印																		
特殊取扱	円																		

各票の印欄は、払込人において記載してください

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください
切り取らないで郵便局にお出しください

・郵便振込での申し込みの締め切りは7月30日（金）です。ご協力ください。

・フィールドワーク・ワークショップの申し込みは、7月30日以前でも、定員になりしだい締め切ります。

大会・フィールドワーク・全国交流会参加の費用について

- ・大会参加（大会資料代等）..... 4,500円
- ・フィールドワーク..... 各3,000円
- ・ワークショップ..... 1,000円
- ・全国交流会..... 3,000円

書籍・資料の販売、展示について

書籍・資料の販売、展示等を行いますのでご利用ください。大会本部で認められた場所以外で行うことはできません。

その他

ビラ・署名は大会本部の許可のないものは認められません。広告、チラシは前もって「大会要綱集」に刷り込みますので、問い合わせてください。

宿泊

下記の旅行社へ7月30日までに電話・ファックスで直接申し込んで下さい。1泊朝食つき6,000円～8,700円（税・サ込み）です。近鉄奈良駅周辺のホテルを確保してもらっています。近鉄奈良駅から会場へは電車で約10分です。



(株) JTB 奈良支店営業課団体旅行担当 関口さん

〒530-0003 奈良市西御門町28 北側ビル内 TEL:0742-23-2521, FAX:0742-26-2521 email:nara_eib@kns.jtb.co.jp

連絡・問い合わせ

第25回全国在日外国人教育研究会 奈良大会実行委員会事務局

〒630-8133 奈良市大安寺1-23-1 奈良県解放センター内 奈良県外国人教育研究会 榎井、大久保

TEL 0742-62-5555, FAX 0742-62-5568, email nagaikyo@m3.kcn.ne.jp

全国在日外国人教育研究協議会 〒604-0867 京都市中京区烏丸丸太町西入る NHKビル3F

TEL 075-212-1338, email zencho-lj@infoseek.jp, URL http://members.at.infoseek.co.jp/zencho

この受領証は、郵便局で機械処理した場合は郵便振替の払込みの証拠となるものですから大切に保存してください。

ご注意

この払込書は、機械で処理しますので、口座番号および金額を記入する際は、枠内に丁寧に記入してください。

また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。

(郵政事業庁)